

国立大学法人愛知教育大学教員人事の方針

令和3年3月23日 役員会決定

国立大学法人愛知教育大学の理念・ビジョンの実現と目標の達成に向けて、教育研究や社会貢献活動の推進に必要な能力を備える人材を、長期的・多角的な視野に立って、本学の内外から幅広く登用していくため、ここに本学の大学教員人事の方針を定める。

1. 教育研究の高度化や先進化を推進するため、高い識見を備え、教育研究能力に優れ、意欲と適性のある者を、原則として公募により登用する。
2. 学校現場等の現代的な課題に即応できる人材の養成教育のため、実務経験を有する者、又は学校現場等をフィールドとした実践研究実績を有する者を積極的に登用する。
3. 教育研究の国際化を推進するため、グローバルマインドを有する者を積極的に登用する。
4. 広域拠点型教員養成系大学として地域社会の発展に貢献するため、地域固有の課題に取り組む意欲のある者を積極的に登用する。
5. 教育研究の組織的取組においてリーダーシップを発揮できる者を積極的に登用するとともに、将来において法人運営を担うことが期待される人材に必要な知識・能力の研鑽や経験を積ませる機会を設け、次代のリーダーを育成する。
6. 本学でキャリア形成を図り、本学の教育研究の持続的な発展を担う人材を育成するため、教員の年齢構成のバランスに配慮して、若手の登用を推進する。
7. 男女共同参画、障がい者や高齢者の雇用を通じて、本学の教学運営や管理運営の上での視点の多様性を高めるため、次のことに重点的に取り組む。
 - (1) 男女構成のバランスに配慮した女性教員の登用
 - (2) 能力、実績、意欲及び適性のある障がい者の登用
 - (3) 知の継承を目指した高齢者の雇用と適材適所の配置